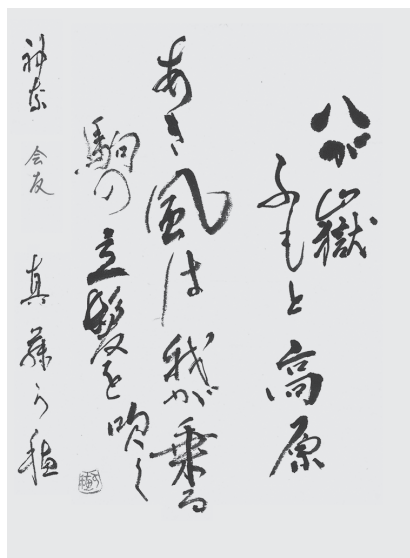


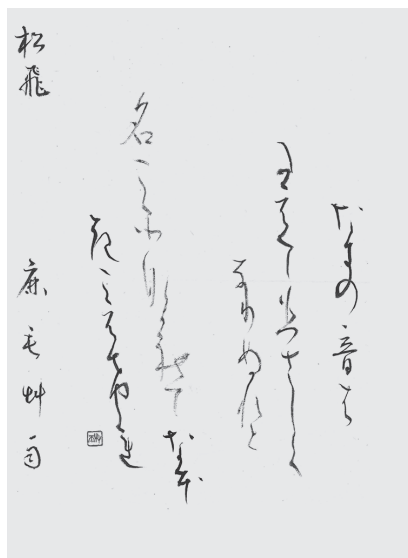
今月の最優秀作品

【新和様半紙】



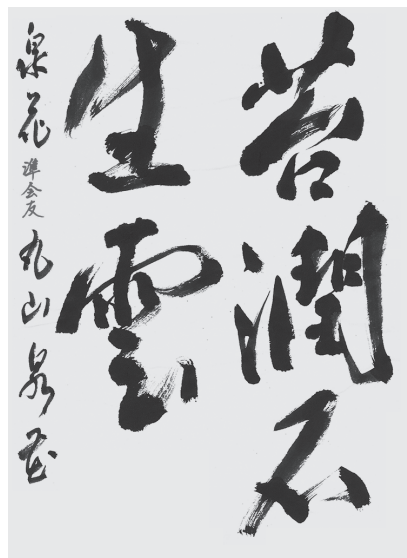
神奈 真藤 可穂 鍛えられた運筆で、潤渇と太細の変化・一字の中にも妙味あり、構成もよく立体的な作品となった。
(審査評 吉家 桂雪)

【かな半紙】



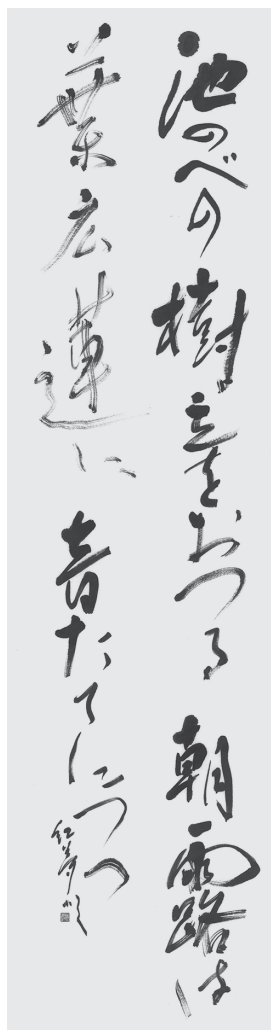
松飛 鹿毛 艸雨 行頭・行脚での筆の入れ方、抜き方が巧み。行間の間のとり方も絶妙。墨色の変化が自然で、気を衒わぬ会心作。
(審査評 岩浪 春鳥)

【漢字半紙】



泉花 丸山 泉花 紙墨相和し入木三分、筆勢が力強く潤渇肥瘦濃淡をバランス良く配し、特に渴筆が美しい。落款も調和した会心作。
(審査評 池田 知之)

【新和様条幅】



神子 吉田 紅夢 墨色の変化、文字の配置に細心の工夫がされ、闊達な運筆で大きく展開した奥行きを感じさせる雄大な作。
(審査評 二宮 桂秀)

【かな条幅】



いち 榎原 由紀子 細身の作品が多い中、堂々たるパワーで他を圧した。簡素なかきぶりだが、潤渇の変化で「泉」「手」「鏡」の漢字をうまく対比させた。筆圧豊かで温和。こういう、かな作品もあつて良い。
(審査評 中島 永岳)

【漢字条幅】



松 角田 茅水 観る側の心に訴えて来る字形や用筆は、一朝一夕にして出来上がるものではないと教えてくれる秀作。継続は力なり。
(審査評 永井 香樹)

9月提出の競書の写真版全作品は、9月17日(木)より本会ホームページに掲載いたします。





寸陰是競

湘花
阿部康幸

寸陰是競

友和
上原明美

寸陰是競

書字
工藤 至紀

寸陰是競

柏
小山佳代子

寸陰是競

桜塚
中島莉子

寸陰是競

祥
須釜 美樹子

杞棘垂珠滴露紅兩
蛩相應語莎叢

阪二 粟山 紀芳

杞棘垂珠滴露紅兩
蛩相應語莎叢

紅衫 磯崎あゆみ

未嘗不臨文嗟悼不
能喻之於懷

心 森山 亮香

未嘗不臨文嗟悼不
能喻之於懷

書字 猪野ともし

看取蓮花淨

書字 木村恵美子

杞棘垂珠滴露紅兩
蛩相應語莎叢

プラ 高橋久美子

杞棘垂珠滴露紅兩
蛩相應語莎叢

書字 尾崎美和子

未嘗不臨文嗟悼不
能喻之於懷

青井 虫明智恵子

未嘗不臨文嗟悼不
能喻之於懷

梧星 目黒 由華

看取蓮花淨

書字 太田絵美子

杞棘垂珠滴露紅兩
蛩相應語莎叢

書字 指田 敦子

杞棘垂珠滴露紅兩
蛩相應語莎叢

書字 宗像 陽子

未嘗不臨文嗟悼不
能喻之於懷

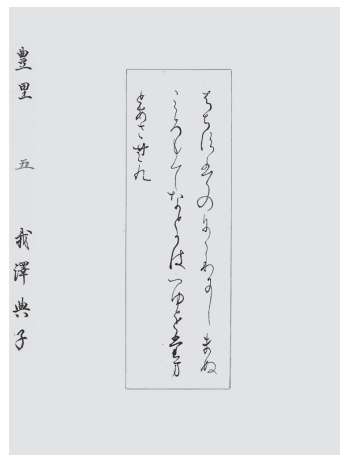
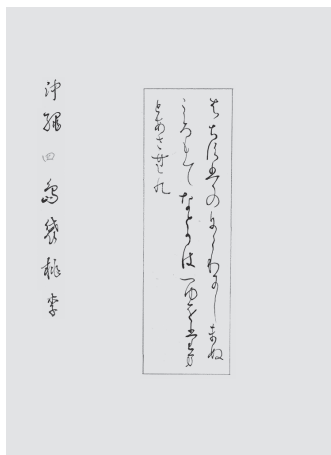
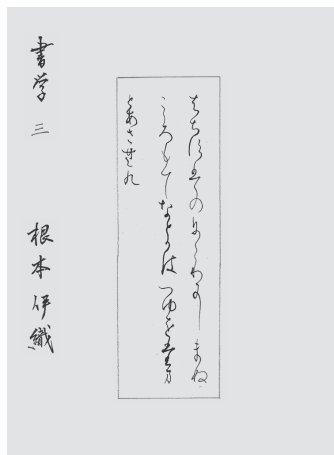
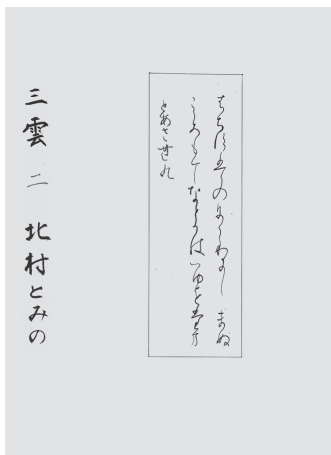
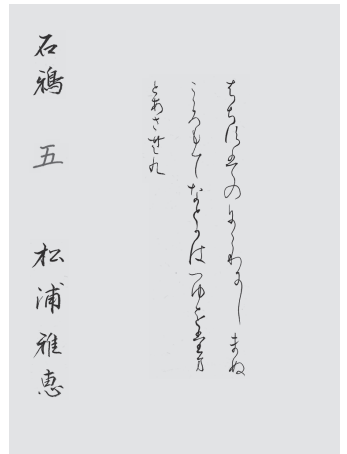
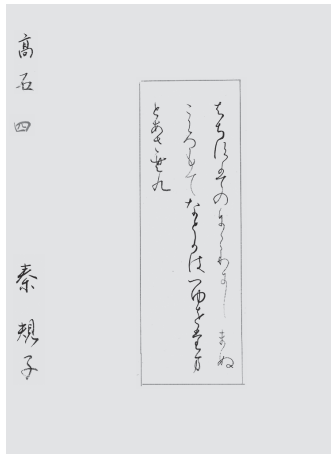
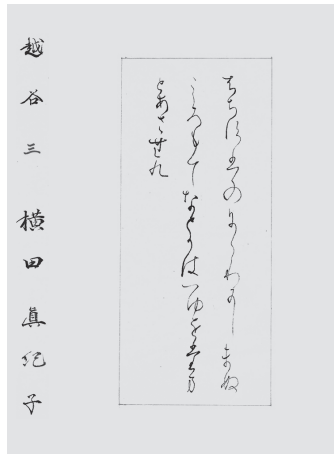
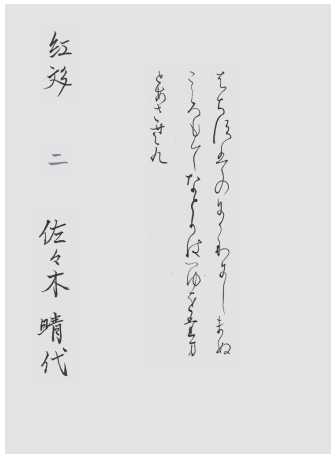
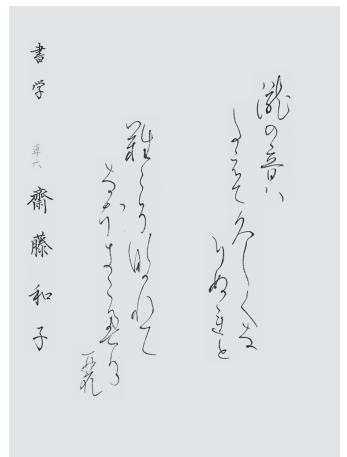
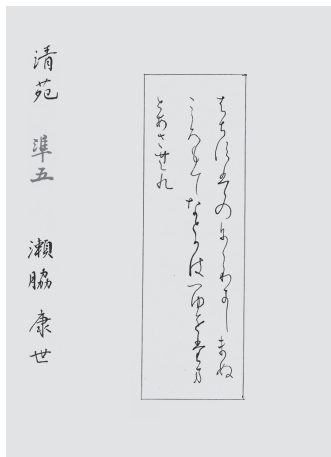
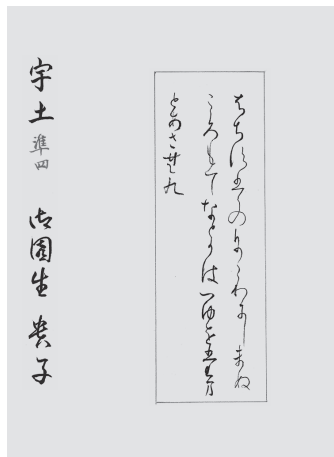
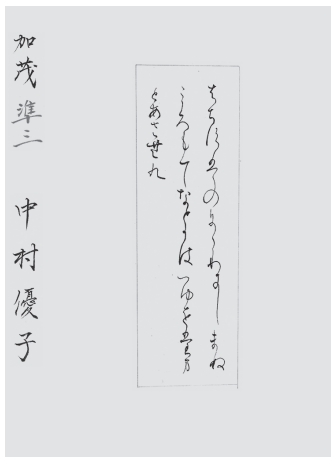
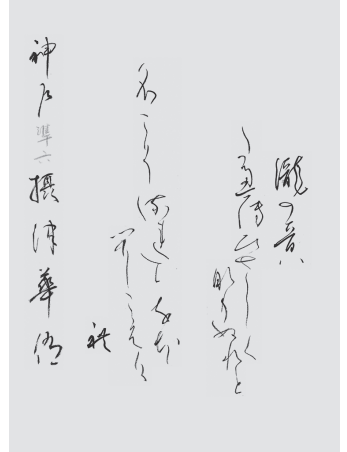
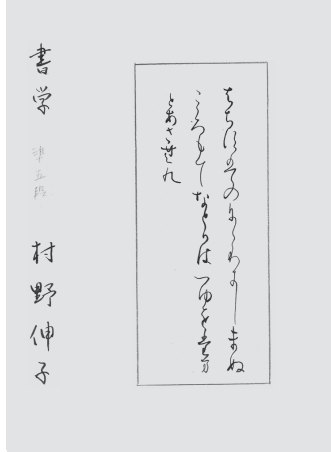
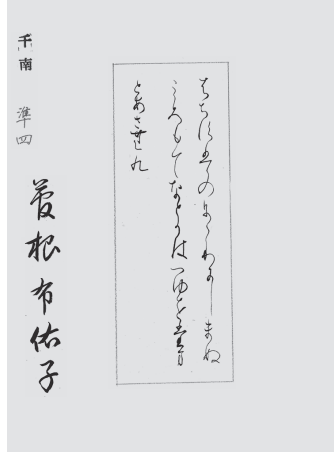
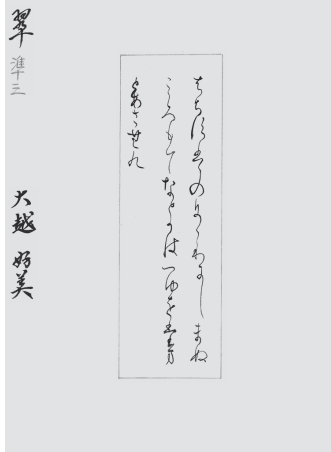
梧星 高橋 圭子

看取蓮花淨

書字 林 実千子

看取蓮花淨

書字 荒川 智美



湖花
阿部 康華

れにまふ分ち
はま越三志毛
戸通 誠王堂達

慧白
加藤 君枝

れにまふ分ち
はま越三志毛
戸通 誠王堂達

之筆
正田 佳子

れにまふ分ち
はま越三志毛
戸通 誠王堂達

市川
椎名 友美

れにまふ分ち
はま越三志毛
戸通 誠王堂達

松飛 鹿毛 艸雨

むすむらさきふたふたはる月影
手もまもるねうまはる

桃列 森本 敦子

むすむらさきふたふたはる月影
手もまもるねうまはる

永岳 古川 久子

むすむらさきふたふたはる月影
手もまもるねうまはる

水荃 布川 裕美子

むすむらさきふたふたはる月影
手もまもるねうまはる

秋月 須佐 光宏

むすむらさきふたふたはる月影
手もまもるねうまはる

水荃 早坂 恵子

むすむらさきふたふたはる月影
手もまもるねうまはる

紅彩 竹田 友香

ゆふくはさやいかにあまの空に
はるくはさやいかにあまの空に

青葉 中村 恵子

ゆふくはさやいかにあまの空に
はるくはさやいかにあまの空に

佐波 浅野 典子

ゆふくはさやいかにあまの空に
はるくはさやいかにあまの空に

多摩 加藤 ちさと

ゆふくはさやいかにあまの空に
はるくはさやいかにあまの空に

五香 飯島 繁子

ゆふくはさやいかにあまの空に
はるくはさやいかにあまの空に

書学 石田 知英子

ゆふくはさやいかにあまの空に
はるくはさやいかにあまの空に

大藤 江木 千恵子

然して、同じの空に
花はさや

書学 金澤 麻衣

然して、同じの空に
花はさや

書学 本山 幸恵子

然して、同じの空に
花はさや

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 金 根来伝政子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 百合蓮金友 山田信子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 堀本 八 中村楓子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 北上 準七段 島藤智子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 香板 澤 水清春

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 井雲 金友 田村雪江

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 万里 津友 神田信子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 智 八 松井静子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 南草 準七段 岡田美智子

青白き光
 のとけてひびく
 月夜の川の
 潮のふけさ
 港北 立段 長島順子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 藤村 部門金友 津野静子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 吉堂 井上晴湖

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 鹿書 八 福田洋子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 秋月 六段 須佐光宏

青白き光
 のとけてひびく
 月夜の川の
 潮のふけさ
 拙心 五 小糸鈴子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 天草 部門金友 黒川良子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 天沼 蓮金 研谷白子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 永安 七 永田千夏

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 南草 六 小池小代子

青白き光
 のとけてひびく
 月夜の川の
 潮のふけさ
 神水 三 守屋美佐子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 小宮 準安 和室三子

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 一人 八段 宮崎恵華

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 七 原登秋彦

ハガ嶽 ふもと高原
 我に乗る駒の
 立髪を吹く
 N.Y 準六柳 実優

青白き光
 のとけてひびく
 月夜の川の
 潮のふけさ
 舞江 八 小川由美

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
洗心 四 おおしと樹

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
野口 三 松村 歩

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
書学 和泉身守

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
書学 林幸子

雲の峰
雷を封じて
聳え
けり
書学 斎藤みさ子

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
秋月 四 堀口 静江

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
書学 赤田 志

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
書学 二 猪野 とも子

雲の峰
雷を封じて
聳え
けり
書学 林幸子

雲の峰
雷を封じて
聳え
けり
人二 安田 裕美子

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
橋屋 四 神田 富徳

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
吉成 宮腰 千寿子

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
立親 五 至極 美和

雲の峰
雷を封じて
聳え
けり
書学 演野 里砂

雲の峰
雷を封じて
聳え
けり
羽平 風 柳田 睦 4

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
三花 四 藤原 美佳

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
麗泉 二 法法 谷豊

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
書学 真田 夏蔵

雲の峰
雷を封じて
聳え
けり
書学 宇田川 裕子

雲の峰
雷を封じて
聳え
けり
天元 杉森 裕美

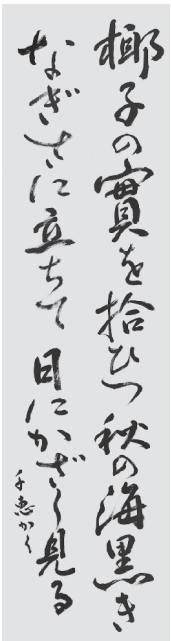
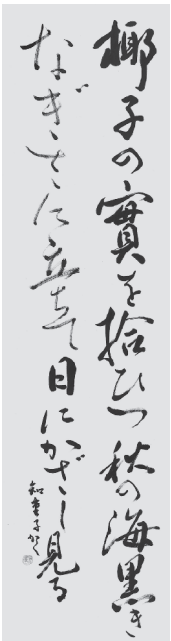
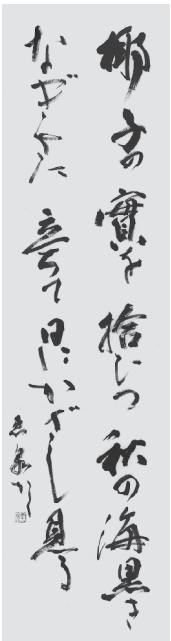
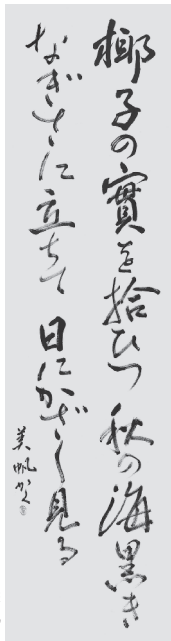
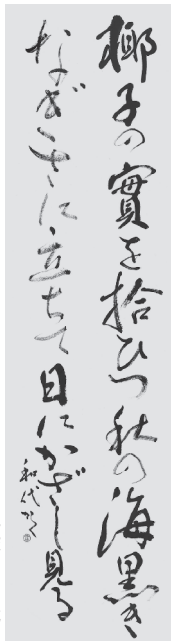
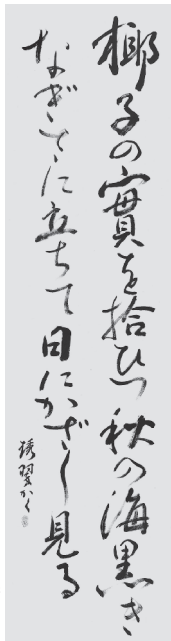
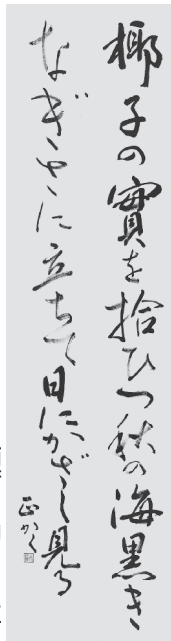
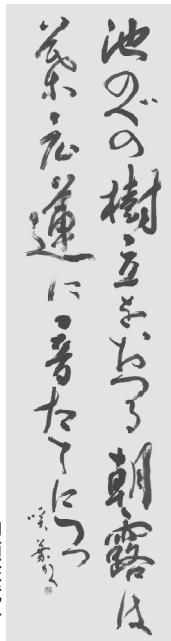
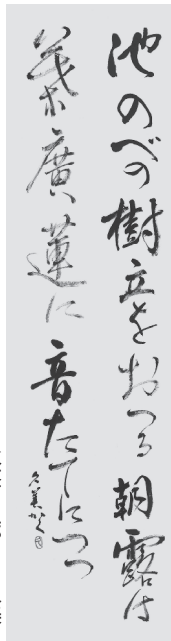
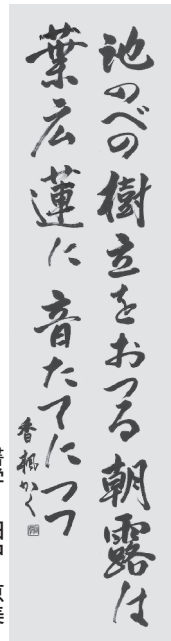
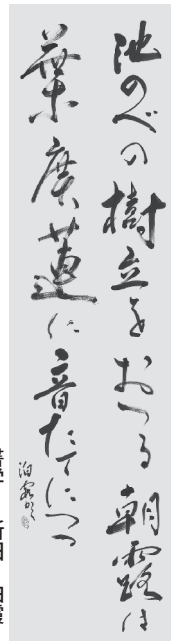
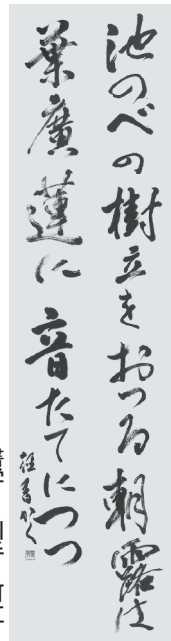
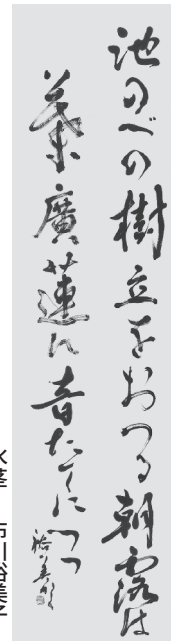
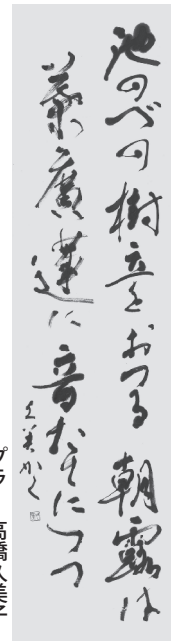
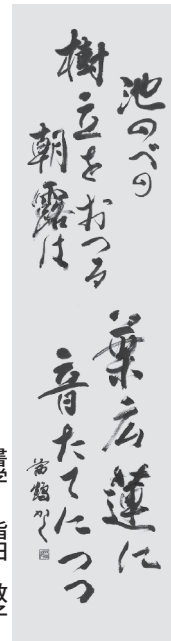
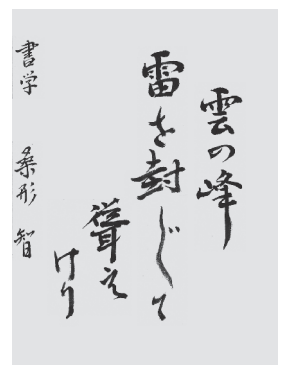
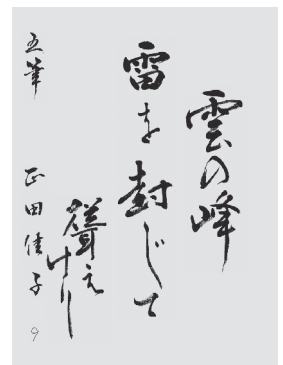
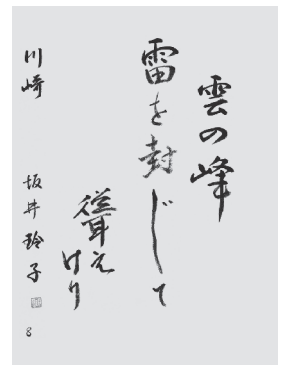
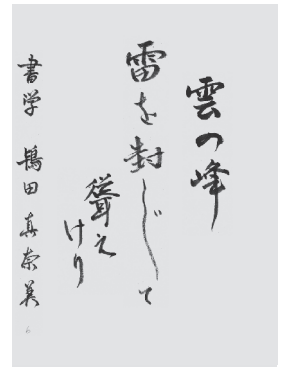
青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
岩書 佐藤 美佳

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
あおば 二 稲谷 菜亜紗

青白き光
のときてひろがる
月夜の川の
潮のしづけさ
大楠 準 初繁 田香子

雲の峰
雷を封じて
聳え
けり
五香 亀井 佳江

雲の峰
雷を封じて
聳え
けり
書学 神田 遥菜



佛說阿彌陀經
如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園
與大比丘僧千二百五十人俱皆是大阿羅
漢衆所知識長老舍利弗摩訶目犍連摩訶
迦葉摩訶迦旃延摩訶拘絺羅離婆多周梨
槃陀伽難陀阿難陀羅睺羅憍梵波提賓頭
盧頗羅墮迦留陀夷摩訶劫賓那薄拘羅阿
菟樓駄如是等諸大弟子并諸菩薩摩訶薩
文殊師利法王子阿逸多菩薩乾陀訶提菩
薩常精進菩薩與如是等諸大菩薩及釋提
桓因等无量諸天大衆俱
尔時佛告長老舍利弗從是西方過十万億

千翠 小宮富久子

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
不增不減是故空中无色无受想行識无眼
耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至
无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死
亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜

九書 長谷川裕美

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
不增不減是故空中无色无受想行識无眼
耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至
无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死
亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜

書学 宮下 香奈

佛說阿彌陀經
如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園
與大比丘僧千二百五十人俱皆是大阿羅
漢衆所知識長老舍利弗摩訶目犍連摩訶
迦葉摩訶迦旃延摩訶拘絺羅離婆多周梨
槃陀伽難陀阿難陀羅睺羅憍梵波提賓頭
盧頗羅墮迦留陀夷摩訶劫賓那薄拘羅阿
菟樓駄如是等諸大弟子并諸菩薩摩訶薩
文殊師利法王子阿逸多菩薩乾陀訶提菩
薩常精進菩薩與如是等諸大菩薩及釋提
桓因等无量諸天大衆俱
尔時佛告長老舍利弗從是西方過十万億

秀仙 錦木 恵美

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
不增不減是故空中无色无受想行識无眼
耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至
无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死
亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜

書学 石井加奈子

佛說阿彌陀經
如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園
與大比丘僧千二百五十人俱皆是大阿羅
漢衆所知識長老舍利弗摩訶目犍連摩訶
迦葉摩訶迦旃延摩訶拘絺羅離婆多周梨
槃陀伽難陀阿難陀羅睺羅憍梵波提賓頭
盧頗羅墮迦留陀夷摩訶劫賓那薄拘羅阿
菟樓駄如是等諸大弟子并諸菩薩摩訶薩
文殊師利法王子阿逸多菩薩乾陀訶提菩
薩常精進菩薩與如是等諸大菩薩及釋提
桓因等无量諸天大衆俱
尔時佛告長老舍利弗從是西方過十万億

大森 谷 拓弥

規定

「寒蟬鳴」

審査評—秋山 凌雲



水荃

青戸 佑きこ

太い外郭に文字が引き立つ。整然とした章法と大胆な筆運びが見事。文字にも少し欠かしを入れると古色や深みが更に増すのでは。



書字

金子 一彦

分間が整い、沈着重厚で深い味わいのある線には確かな見応えがある。鳥の縦線を少し延ばすと全体のバランスが更に良くなったか。



書字

高見 敏久

寒を二字の如くに見せた章法は秀逸である。漢印の雰囲気がある、古拙の味わいもよく表現されていて、豊かな刀意を感じさせる。



随意

「一病息災」

水荃

山下 啓子

字法と章法に優れた目を引く佳作である。印影の薄さが残念なため、今後は紙や印泥、鈴印の技術を研究されたい。

教習名	唐扇		
氏名	原田清華		
寺田	土居	内藤	中井
小島	中尾	中野	永田
永山	西村	野口	橋本

教習名	やの				
氏名	野口翠花	寺田	土居	内藤	中井
		小島	中尾	中野	永田
		永山	西村	野口	橋本

教習名	伊賀		
氏名	藤岡延子		
寺田	土居	内藤	中井
小島	中尾	中野	永田
永山	西村	野口	橋本

教習名	山口		
氏名	大嶋真弓		
寺田	土居	内藤	中井
小島	中尾	中野	永田
永山	西村	野口	橋本

教習名	田石		
氏名	石田穂花		
寺田	土居	内藤	中井
小島	中尾	中野	永田
永山	西村	野口	橋本

教習名	新潟		
氏名	坂井光華		
寺田	土居	内藤	中井
小島	中尾	中野	永田
永山	西村	野口	橋本

教習名	鷹番		
氏名	中川由美子		
寺田	土居	内藤	中井
小島	中尾	中野	永田
永山	西村	野口	橋本

教習名	ぬま		
氏名	斎藤和菁		
寺田	土居	内藤	中井
小島	中尾	中野	永田
永山	西村	野口	橋本

規定

〔瀾〕 「東」の草略に「永・永」など、筆勢による疑わしい形態がかなり散見されました。



審査評—立川 井梧

清和 大橋 信之 門構えの線は太細、長短の変化を大胆に表現させた。筆鋒の動きに筆圧の変化を見せ造型に独創性を感じる。左の余白と押印はナイス。

きし 根来 佐枝子 金文の作としては、穏やかな線質で無難に造型表現している。起筆には突き刺す弾力ある強い線の表現を期待したい。

沼津 山本 南峰 中央部に堂々とした造型は周囲の余白を生かして成功した。線は力感と荒々しさが絡み合い活力に富む作となった。

光風 池田 嶺華 サンズイの墨量から筆鋒の動きは一貫貫通させ、筆脈は気宇雄大、かつ、安定した造型美を見せた佳作である。

随意

〔し〕 平がな「し」の毛筆表現の難しさを審査を通して痛感いたしました。大方は「之」による筆意表現でした。

審査評—立川 井梧



書学 古川真由美 紙、墨色、筆勢、筆圧の妙に相まって、「之」の筆脈で、筆の開きを展開させる自在の筆捌きの手腕は見事である。印は小さいようだ。

沖繩 都丸 和哉 平がな「し」を豊かな線で、線条は温雅ながら重厚でスピード感のある表現で生氣で味わいある書。押印布置良。

伊賀 石田 春代 穏やかな起筆を受け、流麗な線は淀みない大河を表わす。単調になり易い線を筆先を生かしたリズムの中で書き上げた。

松 角田 茅水 起筆は筆を強く突き落して、その弾力を生かし、線質の変化の表情は質実剛健で一気の筆致は見事である。